

【第4次岐阜県教育振興基本計画】

◇育みたい力:「自立力」「共生力」「創造力」をバランスよく身に付けさせ、才能や個性を伸ばし、より良い未来の実現に挑み続けることで、世界や社会に貢献できる力を養う
◇取り組む施策: 豊かな人間性/未来を創る確かな学力と実践力/健やかな体/学びの多様なニーズに応える環境

【学校の教育目標】

志を立て 夢の実現をめざして
粘り強く挑戦する生徒

【各務原市学校教育の方針】

誇り・やさしさ・活力のある児童生徒
～一人一人が学ぶ喜びを実感～
・たくましく生き抜く力の育成
・安心して学べる教育環境の提供

【学校の実態】

- 学習面では、課題に向けてまじめに取り組んだり、主体的に取り組んだりする姿が増えてきた。
▲仲間とともに考えを広げたり学びを深めたりする力を伸ばしたい。
- 生活面では諸活動に対して役割を理解し、まじめに取り組む生徒が多い。
- 自分の弱さを理解し、よりよい生き方をしたいと願う生徒が多い。
▲願いや思いを表出する力、自らを律する力(TPOの意識)に弱さがある。

【学校経営方針】

自立 明日も来たい学校の実現

生徒・教師:今日は学校へ来てよかった

保護者・地域:子ども達の成長を目の当たりにできて嬉しい

自分で考える力(自立力)・仲間とかかわり合う力(共生力)・粘り強くやりきる力(自己実現力)
を身につけた生徒

「生徒にとってどうか」の視点で判断

【重点項目1】 活力(笑顔)ある学校

- 1-① 課題に向かって粘り強く取り組み、学びを深めるために努力できる学校 [◎研推長]
ア つけたい力を明らかにした授業改善
イ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業づくり
ウ 自己の変容が実感できる終末の工夫<<LT(Learning Treasureの活用)>>
エ 学力の定着及び向上を意図した自主学習ノートの実施
- 1-② 向上心を生徒も教師ももつことができる学校 [◎教務主任・研推長]
ア 研修機会を活用した指導力の向上
イ 生徒の考え・意欲を価値づけ、認め励ます授業づくり
- 1-③ 多忙・多忙感をマネジメントできる学校 [◎教頭・教務主任]
ア 早く帰る日、月60h未満の実現(正確な時間把握、時間外の間発表、会議、部活動)
イ PDCA→Pにより活動即改善を図る
ウ scrap&buildによる行事の見直し

【重点項目2】 規律ある学校

- 2-① 自己指導能力を育むことができる学校 [◎生徒指導主事・特活指導部長]
ア 3つの機能(自己決定の場・自己存在感・共感的人間関係)を生かした生徒指導・学級活動
イ 他者意識を大切にしながら、主体的に取り組むボランティア活動
- 2-② 共通理解・共通指導が徹底できる学校 [◎教頭・生徒指導主事]
(良いことはよい・駄目なことはだめであることの徹底)
ア 「報・連・相」を密にし、指導内容及び指導方法を共有する
イ いじめ、虐待、学校ルール(TPOを意識した服装、身なり)等における共通指導を徹底する

【重点項目3】 地域とともにある学校 “地域(保護者)と育てる”意識の醸成

- 3-① 人権教育を推進する学校 [◎教頭 人権主任]
ア 「自分もよし 他人もよし」の心を育てる人権教育の実践
イ 問題行動だけでなく、良い姿や頑張りも保護者と共有し、「保護者とともに」を念頭に置いた指導を心がける